

読書における見方・考え方を働かせ、読書を通じた探究的な学習を通して、生涯に渡って主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する。

学校教育目標
考える子
やさしい子
やりぬく子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

児童が主体的に学校図書館を利用し、読書に親しめるよう働きかけをする。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、主体的・意欲的に学習活動・読書活動に努める態度を育てる

ねらい

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身につける。
- ② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。 ・資料から情報を得ることのよさに気付く。	第二学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・図書館から適切な資料を探して調べることができる。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じ図書館を適切に利用する。 ・得た情報を分析し、自分の意見をもつ。
	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の見方や借り方など正しく利用できる。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。		第三学年		・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。 ・得た情報から、自分なりの意見を持つ。

具体的な取り組み

<p>〔各教科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。 ○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。 ○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。 	<p>〔読書科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「アニメーション」「読み聞かせ」等による読書の推進、習慣化。 ○ 「ポップ作り」「帯作り」「ブックトーク」等による意欲の向上。 ○ 6年間を通して調べ学習の方法を身に付け、課題解決能力を高める。 		
<p>〔総合的な学習の時間〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方や考え方を身につける。 ○ 課題の解決、探究に主体的に取り組む。 ○ 系統的に情報活用能力を育成する。 	<p>〔特別活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書委員会を中心に、主体的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。 ○ 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。 		
<p>〔道徳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。 	<p>〔家庭・地域との連携〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年1回の読書週間による親子読書の推進。 ○ 図書ボランティアや松江図書館との連携。 		
<p>朝読書の推進</p>	<p>推進組織の確立・充実</p>	<p>図書館経営評価の実施</p>	<p>図書環境の整備・充実</p>